

キャラクター名
ホープ・レドリック

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	
	モルフェウス					
オプション			年齢	16	性別	男
覚醒	素体	衝動	解放		初期侵食率	40 %
出自	待ち望まれた子	経験	UGNへの忠誠		邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	15
感覚	4	1	0	2		7	(非装備時)	15
精神	0	0	0	1		1	戦闘移動	20
社会	2	0	0			2	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:自動二輪	1		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
栄光と勝利の槍	射撃	7r+4		11		
		0				
トレジャー・ワン	射撃	8r+4		25		コンセ・レインフォース・カスタマ
	射撃	12r+4		26		コンセ・レインフォース・カスタマ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
コネ:UGN幹部	
思い出の一品	
サイドリール	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
遺産継承者	P	N		
WH"白鳩・ピースサイン"水泥 小嶋	P 幸福感	N 疎外感		
GR"ミリオンガングアッシュ・レドリック	P 感服	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
クリスタライズ	3	4					100↑	
効果: 攻撃力+Lv*3 シナリオ3回								
カスタマイズ	4	2	メジャー			射撃・白兵		
効果: ダイブ+Lv								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果:								
スプリットアタック	2	4	メジャー		Lv+1	シンドロ	80↑	
効果: 対象増加 1シーン1回								
レインフォース	7	2	メジャー			シンドロ		
効果: 攻撃力+Lv*2								
カウンター	1	4					80↑	
効果: シナリオLV回								
水晶の剣	4	4	メジャー					
効果: 選択した武器攻撃力+Lv*2 シナリオ3回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

画像
https://picrew.me/image_maker/26311/complete?cd=4s3zz0wcnr

PC2 推奨ワークス: UGNチルドレン
シナリオロイス: 〈シヴァ〉

UGN在原市支部に属するあなたは、支部長から任務を告げられる。先日謎の爆発により壊滅したFHの研究施設から、〈シヴァ〉と呼ばれる実験体が脱走したとの情報を得た。これを早急に見つけ出し捕縛すること、それが今回の任務だった。

「彼の誇りにかけて、君を討つ」
「うん、私は決して君を害することはないとここに誓うよ」
「頼もしい限りだ。是非その背を任せてもらいたい」
「嘘八百ではなく、たった一つの真実にこそ心が宿るものさ」
「駄目だよ、あまり人を悪く言うものじゃない」

別組織にて生み育てられていたところをUGNが保護。その組織は解体された。
遺産■■■の使用として適合するように、過去の文献などから過去の使用者の要素を組み合わせて作られたデザインベイビー。
ただそれだけのために過去を重ね合わせられたパッチワークベイビー。
救出後は手厚くUGNの施設で育てられ、十分な教育を施された。
そのため人とは尊敬し、敬い、信じるべきものであると胸に掲げている。
UGNに引き取られてから、その組織解体に尽力していたアッシュ・レドリックが様々な便宜をはかってくれた。
そのおかげで、人造人間でありながら周りから暖かく接してもらっていた。
今後の世界で生き残るためにもマリア・チェスノコフを師匠として、戦闘の腕を磨き続けていた。